



さあ！冬休み～楽しもう！・仕事をしよう！～

《No. 10》
令和7年12月23日

12月に入り、インフルエンザ等で休む人も何人かいましたが、大きく流行することなく、今日で2学期最後の日を迎えることができました。

終業式の中で、子供達には次の2つのことについて話をしました。

①しっかり楽しもう！

年末年始をはさむ冬休みは、子供たちにとってわくわくするようなイベントがたくさんあるのではないかと思います。

また、家族や親せきが集まってにぎやかになる場面もあるのではないのでしょうか。日常とは違う生活をしっかりと楽しんでほしいと思います。

②「仕事」をしよう！

1年の節目を迎えるということで、大掃除をしたり、新年を迎える準備をしたりなど、家の中ではたくさんやるがあります。そこで、一人一人に「お手伝い」ではなく、「仕事」をしてほしいと思っています。さて、この2つの違いは何でしょうか？私は次のように考えています。

・お手伝い……自分以外に誰かがしていることを支える。自分がしなくても済む。

責任が伴わない。

・仕事……自分がまかされて中心となってする。自分がやらないとみんなが困る。

責任がある。



どんなことでもいいので、自分が責任をもってやる「仕事」をこの冬休みにやってほしいと思います。

どんな楽しいことがあったか、どんな「仕事」をしたのかについては、自学でまとめてくれるといいですね。休み明けにいろいろ教えてほしいと思います。

約2週間の休み、有意義に過ごしてください。そして、3学期（1月7日）には、みんなの元気な顔に会えるのを楽しみにしています。では、よいお年を！



わかば学級のみなさんが作成してくれた、12月の玄関の飾りです。たくさんのサンタさんがいますが、なんと！全校児童の数となっているそうです。こんなにサンタさんがいると、プレゼントもたくさんもらえるかな？



ご協力ありがとうございました!～ファミリー読書～

第3回メディアコントロール週間の取組に合わせて、『ファミリー読書』を実施しました。メディアコントロールで生まれた時間に読書をしたいという子供達からの声があること、また、家で読書をしない児童が多いことからの取組でしたが、多くのご家庭より本を囲むあたたかで優しい姿や感想、おすすめの本の紹介をお寄せいただきました。本当にありがとうございました。



1年教室前に『ファミリー読書』について掲示していますので、個人懇談の折にご覧ください。



地域で見守る～民生委員・児童委員さんとの交流～

12月10日(水)に、5・6年生が「未来プロジェクト授業 in 青河・川地小学校」を行いました。この日は、青河小学校の5・6年生と一緒に学習をしました。

この学習は、地域での困り事や心配事を聞いてサポートをしてくださっている「民生委員・児童委員」のみなさんから、「自分たちの活動に関心を持ってもらいたい」ということで企画されたものです。



これまでも、学校行事を行う際には来賓として「民生委員・児童委員」のみなさんに来校していただいています。また、朝のあいさつ活動でも子供たちを見守りながらあいさつをしてくださっているので、これまでも子供たちとの接点はいくらかあったと思いますが、子供たちもなかなか具体的な活動内容までは知っていませんでした。



授業の中では、自分たちの住んでいるところを地図に印をつけて担当の「民生委員・児童委員」を確認したり、グループごとに分かれて話をしたりする活動を行いました。グループ交流では、「ボランティアでやっていて、給料をもらわない」といったことを聞いてびっくりしたり、地域の人々の困り事を聞く際の苦労なども教えてもらったりして、地域で私たちの生活を守

てくださる方がいるということを知ることができました。地域と子どもたちをつなぐ大切な学習ができました。